

令和5年度 甲子地区前期地域会議 開催結果

1. 日 時：令和5年7月6日(木) 18時30分～

2. 場 所：松倉地区コミュニティ消防センター

3. 出席者：地域会議構成員他 別紙のとおり（省略）

釜石市 別紙のとおり（省略）

4. 質疑応答の概要

質問： 本年度は特にもクマの出没が多く市民生活の身近な所に出てきている。けが人等が出る前に駆除をおこなうことはできないのか。

回答： 熊の件ですが、本年度は目撃出沒非常に多くなっており、5月26日に岩手県全域に、ツキノワグマの出没に関する警報を発表されたところ。この警報発令はまれな例であり、非常に全県的に多い状況になっている。本年度、令和5年度の6月現在の出沒目撃情報が124件。前年度1年間で143件でしたので、非常に大きな数字となっている。

甲子地区の状況は4月目撃数が1件。5月で13件。6月で33件となっており、6月に4件捕獲をしている。

熊は餌となる木の実を好みますので、寄せつけないような工夫をしていただきたい。市でも、猟友会と協力しながら、枝打ちの実施やクマが寄ってこないような作業をするという工夫をしている。皆様にも注意いただきたいが、目撃があった場合には、水産農林課に連絡いただき、猟友会と一緒に対応して参りたい。

意見： 防災行政無線は、広範囲に音が聞こえるような形でスピーカーから2回に分けて放送するような形で工夫がされておられる。必要な放送であることは理解しているが、どうしても音に対する苦情を受けることがある。そのような市民の声があることを理解してほしい。

回答： 防災無線の件ですが、その役割は短時間に緊急的なお知らせを皆さんにするためには、大音量のスピーカーを使って伝達するのが、迅速に情報を伝えられるという方法である。苦情等でスピーカーの向きを調整したりもするが、うるさい位置が変わるだけで基本的な根本的な解決にはならず、スピーカーの音量を落としてしまうと必要な情報が伝わらないことになる。ハード的にはなかなかその解決が難しいと考えている。

一方でソフト的な手段として、放送内容に照らして地域別に絞って放送するとか、放送依頼内容を鑑み放送しない等、判断をしながら対応している。

火災とか災害については、苦情いただいても放送しなければならない。市民の命に関わることなので、ご理解願いたい。放送内容についてのご意見は、応援センターの連絡いただきたい。関係課と協議をしながら、放送内容を整理していくといったことが一番の現実的な解決策と考

えている。いずれ、災害に関わるもの、命に関わることを放送するのが防災無線ですので、ご理解を願いたい。

意見： 甲子村の水路跡について、市の文化財にも指定されている。水が流れている方が景観上もよいと考えている。町内会で春と秋に浚渫を実施するなど維持管理に努めているが、撤去する土砂だけで1回あたり土嚢袋30～40袋になる。その処理に困っている現状がある。ここ1年は町内会でトラックを出して、処理場に持ち込み処分している現状である。維持管理のため対応を検討してほしい。

回答： 公民館前の水路を春と秋のクリーンアップで掃除していただき、改めて感謝申し上げます。その際の土嚢袋については、基本的に水路は市が管理であり建設課で管理しているので、今後、建設課の方にご連絡いただきたい。建設課で処分します。
市民生活部でもゴミの観点から建設課と情報を共有し、協力していく。

質問： 防災士養成講座の関係についてです。大変すばらしい事業だと認識している。ぜひ継続していただきたい。確認だが例年町内会に開催案内があったが、令和4年度は来てなかったと認識している。町内会としては、防災士の養成について登録料について町内会で負担し、個人負担のない形で実施している。令和5年度は町内会にも案内を出していただけるのか。町内会としては今後も応援していきたいと考えている。

関連して、防災士になってからスキルアップ講習があったが、ここ2、3年なった人のスキルアップという部分の講習がなくなっている。せっかく町内会に防災士がいるのに、その方たちのスキルアップができないというような状態であるが、スキルアップ講習は再開するのか。

回答： 防災士の養成講座の案内は、地域にご案内したと思っていたが、もしかすると広報だけで終わっていた可能性がある。改めて町内会にも周知し広報だけで終わらないような形で対応していく。ご意見ありがとうございます。

スキルアップ講習は、コロナの関係もあり、防災士養成講座と、関連する講座関係が、すべてできてこなかった。昨年度からコロナの状況を見ながら養成講座の再開をした。スキルアップ講習は、資格を取らせて、それだけで終わってはいけないことは、市としても考えているので、近いうちに復活させる。

意見： 本日の地域会議の会場の環境が悪い。人を集めておいて、冷房も何もないのが許されるのか。温暖化が進んでいるのに、何の設備も整えないのは、ずるいというか目をつぶりすぎていると思います。冷房設備を入れてもらいたい。

また、この会場は、駐車できる場所が少ない。会議の仕方を、もう1回基本に帰って検討すべきだと思います。検討を。

さらに、市の役所言葉で「やります。やります。やっています」という答弁をしてもらったことあるが、実際できてないこともある。役所言葉について教えてください。

4年ほど前に、魚市場の問題を指摘した。当時の副市長に答弁いただき、「やります。やっています。」と回答いただいたが6月30日の新聞見ると、ほとんどやっていないと感じる。廻来船をどのように誘致しているのか質問しました。やってきていたらこのような状況になっていないのではないか。

回答： エアコン、駐車場、バスの便など会議開催する場所の課題は、ご意見のとおりです。今の公共施設でエアコンないところもあるが、少しずつ改善している。学校にもやっとなり行き渡るところまで進んでいる。順番に皆さんに不公平にならないように考えて参るので、ご理解をお願いします。

「やります。やります。」については、役所でもやりますといったことはやっていますし、これからもやって参ります。できないときには、きちんと理由を説明して、すぐにはできずとお伝えするので、その点については信じていただきたい。

魚市場の件については、天然資源が減り、釜石だけではなく全国的に厳しい状況が続く、近隣の漁港でも水揚げは減っております。実際に廻来船の誘致活動は、本年度も来週からまた活動をはじめ、全国を訪問することにしていく。魚の買受をする事業者の方々と魚市場に、市と一緒に連携しながら、事業者を訪問して、西の方まで訪問し、水揚げのお願いしてまいります。

全国の廻来船も数が決まっており、どこの港もその廻来船を奪い合う状況にある。

魚市場の経営は非常に厳しい状況が続いているが、廻来船以外でも定置網の2回おこしの復活とか、海面養殖事業を開始し水揚げ増強に取り組んでいる。

魚市場の経営を再建する以外に、再生の道はないというふうと考えており、事業展開を模索し、可能性を見出しながら取り組んで参ります。

【市長総括】

今日、皆さん暑いところでいろんなご意見いただき、ありがとうございました。

まずは魚市場ですが、まず「やります」と言ったことは、やるということはまず間違いないと思いますが、ただそれが期待した成果を生んでいるかどうかは、なかなか判断が難しいところ。特に魚の方はおっしゃった通り、頑張ってはおりますけれども、なかなか思うような成果が上がっていない点はある。今年度の廻来船もつい先ごろ入港しイワシ400トンほど水揚げがあった。廻来船も、いろんな誘致活動をして水揚げにつながっている。それだけではなく定置網の回数を増やす取り組みや、養殖の方に力を入れてもらっている。魚類養殖は市がやっているわけではなく、養殖事業を実施する漁業者に取り組んでいただくことで進めておりサクラマスが200トン。去年よりもかなり多く水揚げが期待される場所です。銀ザケも挑戦している。他の先行地域から見れば、遅れているところは事実ですが、間違いなくこれは近づいていくし、そうならないと魚市場の経営も非常に厳しくなるので、何とかこれ改善できるように努力をしていきたいと思っている。

それから施設の冷暖房については申し訳ない。学校をやっとなり全教室に展開できるまでになったが、体育館とか、まだ進めていけない部分もある、順番をつけていきたいと思っている。2階のあるこの集会所の場合は、高齢者の皆さんには階段が大変だと思うので、昇降機をつけるようにもしている。

防災行政無線にしても、以前であれば、例えば火事の際に消防団が放水作業を実施していると地域の皆さんが炊き出しをし、団員が食事できる体制があったが、今はなかなかそういうのはない。

中には、消防ホースが道路をこう跨いでしまう際に付近の方々からホースが邪魔だといわれることも

あり、時代の変化を感じるころ。

防災無線は、命に関わるものについては、苦情等の意見があっても行政としては、曲げてはならない部分もありますので、ぜひご理解をいただきたい。対応できるところについては、対応していきたい。

それから熊については、駆除したらいいと言われるが駆除できないとのこと。人が住んでいる場所では、捕まえて山に返す対応をしている。熊は保護動物であり、なかなかそう簡単に駆除ができないということでございます。市としては、食べ物のあるところを、できるだけ減らしていくのが最善の策ということ考えている。近隣にクマの餌になる木がある場合は、非常に危険な可能性が高いと思います。特に子供たちの登下校については、ぜひ善処していただきますようによろしくお願ひしたい。

防災士については、かなりの方々が登録をしていただいている。今のところ大きな災害がございませんが、今後活躍していただく機会も出てくる。さらに資格とっていただきながら、できるだけ連携をしていただければありがたいと思っている。

防災面では、地域間で協力していただけるような体制を構築していただければありがたいと思っています。防災士の資格を取ったままになっている。あるいは、地域で誰が資格を取っているかわからないというような状況があるかと思いますが、近々、防災士の皆さんの連絡しあえる場。そういった組織的なものを作り、勉強しあい、活躍ができる場を作っていきたいと考えている。東日本大震災からの教訓の一つとして、この防災士の資格の取得進めているので、各町内会の皆様にも、ぜひご協力をしていただければありがたい。

今日はいろんなご意見いただきました。皆さんの期待にこたえられるように、新年度の新しいメンバーで来ましたので、それぞれの部署が本日の皆さんの意見を大事にしながら、地域のさらなる安心安全の確保のために、努力をさせていただきたいと思っている。本日は長時間にわたりご協力ありがとうございました。どうぞこれからもよろしくお願ひします。